

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有		
体育学部	教授	下河内 洋平				
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
2 作成した教科書、教材、参考書						
教員免許更新講習2017、「トレーニングの基礎と実践」137頁-148頁	2017年12月5日	トレーニングの基礎知識とその応用に関して紹介した				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁~終頁	発行所	発行地	発行年月	
「予防に導くスポーツ整形外科」第1章1「パフォーマンス向上を両立させた予防トレーニング」	下河内洋平	40-47	文光堂	東京	2019年	
「スポーツトレーニングの常識を超える！」第3章8「下肢のスポーツ傷害予防トレーニングの真実」	下河内洋平	74-84	大修館書店	東京	2019年	
「もっとなっとく使えるスポーツサイエンス」第2章7節「試合期のけがを予防するにはどうしたらいいの？」	下河内洋平	72-75頁	講談社	東京	2017年	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
Rearfoot strikes more frequently apply combined knee valgus and tibial internal rotation moments than forefoot strikes in females during the early phase of cutting	Ogasawara I, Shimokochi Y, Mae, T, Nakata K	Gait Posture	76	364-371	2020年	
Validity and clinical significance of a clinical method to measure femoral anteversion.	Uota S, Morikita I, Shimokochi Y	J Sports Med Phys Fitness	59 (11)	1908-1914	2019年	
Effect of the FIFA 11+ on Landing Patterns and Baseline Movement Errors in Elite Male Youth Soccer Players.	Akbari H, Sahebozamani M, Daneshjoo A, Amiri-Khorasani M, Shimokochi Y.	J Sport Rehabil	29(6)	1-8	2019年	
女子ハンドボール選手におけるIMUを用いた試合中の動きに関する研究	植松伸之介、井口祐貴、楠本繁生、下河内洋平、大城章、横手健太	コーチング学研究	31(2)	177-183	2018年	
Effects of wearing a compression garment during night sleep on recovery from high-intensity eccentric-concentric quadriceps muscle fatigue	Shimokochi Y, Kuwano S, Yamaguchi T, Abutani H, Shima N	Journal of Strength and Condition Research	31 (10)	2816-2824	2017年	
ハンドボール指導者による選手の主観的プレー能力評価は選手の絶対的体幹固定筋力およびスクワット最大挙上重量を反映する	楠本繁生、井川貴裕、下川真良、下河内洋平	ハンドボールリサーチ	6	1-9	2017年	
Relationship of knee motions with static leg alignments and hip motions in frontal and transverse planes during double-leg landing in healthy athletes	Uota S, Nguyen AD, Aminaka N, Shimokochi Y	Journal of Sport Rehabilitation	26(5)	396-405	2017年	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
ACL損傷予防とコアスタビリティ	下河内洋平	臨床スポーツ医学35巻4号	第35巻 第4号	350頁~355頁	2018年4月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）					
国際（パネルディスカッション）	2018年6月	第10回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会	ACL injury mechanism-based strength and neuromuscular training to prevent ACL injury and improve athletic performance	福岡国際会議場・福岡サンパレス、福岡	下河内洋平
国際（シンポ）	2017年12月	Round Table on Athletic Training in Asia, 2017 Asian Conference on Kinesiology	Evidence Based Physical Training to Prevent Noncontact Anterior Cruciate Ligament Injuries and Improve Ball-Sport Athlete Performance	Keimyung University in Daegu, South Korea	Yohei Shimokochi
国際（シンポ）	2017年9月	日蘭国際交流シンポジウム「Advances and perspectives in the prevention of sports injuries and the enhancement of athletic performance -Japan-Netherlands sports science round table in JSPPSM」、第72回日本体力医学会大会	Evidence Based Physical Training to Prevent Noncontact Anterior Cruciate Ligament Injuries and Improve Performances for Ball Sport Athletes	松山大学、愛媛	Yohei Shimokochi
国際（一般演題）	2017年12月	8th Asia Conference on Kinesiology	Effect of different trunk stabilization strategies on trunk stability during the ascending phase of a back squat	Keimyung University, Daegu, South Korea	Shin Takayama, Yusuke Komura, Satoshi Kuwano, Yohei Shimokochi
国内（シンポ）	2021年9月	第76回日本体力医学会大会	異なる環境下における心理的要因とトレーニング効果の関連 -スポーツ心理学的知見に基づいた現場への提言-	オンライン	三井みのり, 下河内洋平, 楠本繁生, 笹壁和佳奈, 小菅萌
国内（シンポ）	2021年9月	第76回日本体力医学会大会	基本動作の改善は競技中のハイリスク動作や危険肢位出現率の減少につながるのか？	オンライン	笹壁和佳奈, 下河内洋平
国内（シンポ）	2021年9月	第76回日本体力医学会大会	慣性センサを用いた在宅で計測可能な下肢伸張性制御能力の定量化の試み	オンライン	峯田晋史郎, 笹壁和佳奈, 三井みのり, 下河内洋平
国内（講演）	2020年12月	第9回日本トレーニング指導学会	コロナ禍で実施したトレーニングの内容とそ最大挙上重量に対する効果	オンライン	笹壁和佳奈, 小菅萌, 三井みのり, 楠本繁生, 下河内洋平
国内（講演）	2020年12月	第9回日本トレーニング指導学会	球技系アスリートのトレーニング効果に影響を及ぼす心理的要因の検討-コロナ自粛期間前後における大学女子ハンドボール部の事例から	オンライン	三井みのり, 下河内洋平, 楠本繁生, 笹壁和佳奈, 小菅萌
国内（講演）	2020年11月	日本ダンス医科学研究会 オンラインセミナー	ACL損傷メカニズムから考えるダンスにおけるACL損傷予防	オンライン	下河内洋平
国内（シンポ）	2019年11月	第30回日本臨床スポーツ医科学会学術集会	ハンドボールのパフォーマンス向上のためのトレーニング	パシフィコ横浜	下河内洋平
国内（シンポ）	2019年9月	第74回日本体力医学会大会	女子アスリートのパフォーマンス向上とスポーツ傷害予防の両立を目指したトレーニングプログラムの開発と普及・啓発～女子アスリートのトレーナビリティと下肢傷害発生の危険因子の関連性を探る～	つくば国際会議場	下河内洋平
国内（講演）	2019年6月	第2回アスリートケア講習会	伸張-短縮サイクル運動の原理とトレーニング	大阪保健医療大学	下河内洋平
国内（講演）	2019年3月	第10回スポーツメディスンフォーラム	ACL損傷予防とパフォーマンス向上の神経筋機能	大阪大学	下河内洋平
国内（講演）	2018年12月	JATI第13回日本トレーニング指導者研修・交流会	科学的知見を現場に利用するための思考プロセス	大阪学院大学	下河内洋平
国内（シンポ）	2018年7月	SPORTECH 2018 JATIトレーニング科学シンポジウム	科学的知見を現場に利用するための思考プロセス	東京ビックサイト	下河内洋平

国内(講演)	2017年10月	第2回JATI&JATOコラボセミナー	非接触性ACL損傷予防のための着地のメカニクス	大阪ハイテクノロジー専門学校	下河内洋平
国内(講演)	2017年7月	SPORTECH 2017 日本アスレティックトレーニング学会 日本トレーニング指導学会 合同シンポジウム	球技における前十字靭帯損傷予防とパフォーマンス向上をどのように両立させるべきか?	東京ビックサイト	下河内洋平
国内(講演)	2017年3月	日本ハンドボール学会第5 回大会シンポジウム 「前十字靭帯損傷は防げる! 選手を守るための現場的エッセンス」	ACL 損傷予防とパフォーマンス向上をどのように両立させるか	東京理科大学葛飾キャンパス講義棟	下河内洋平
国内(一般演題)	2021年10月	第10回日本アスレティックトレーニング学会学術大会	ドロップジャンプにおける動的アライメントと実際の競技中の減速動作における危険肢位およびハイリスク動作出現率との関係性	オンライン	笹壁和佳奈、小笠原一生、楠本繁生、魚田尚吾、栗野聡、下河内洋平
国内(一般演題)	2021年9月	第76回日本体力医学会大会	中・高齢者における下肢伸張性収縮制御能力の新たな指標を用いた下肢機能評価	オンライン	下河内洋平、峯田晋史郎、前島悦子、池島明子、友金明香、三島隆章、野坂和則
国際	2019年11月	Society 5.0 実現化拠点支援事業ライブデザイン・イノベーション研究拠点(iLDi)国際シンポジウム	健康・スポーツPLR(Personal life records)プラットフォーム創設プロジェクト:スマートフォンを用いたPER(Personal exercise records)アプリケーションの開発	グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)	下河内洋平、峯田晋史郎
国内(一般演題)	2019年9月	ハイパフォーマンススポーツ・カンファレンス2019	女性アスリート育成支援プロジェクトの取り組みについて	ナショナルトレーニングセンター	黒田阿吾、井上春奈、梅林薫、浦久保和哉、小笠原一生、川上諒、楠本繁生、小菅萌、坂内悠、島典広、高津智光、高本恵美、長江晃生、中田研、中村祥子、前島悦子、三島隆章、村上なおみ、下河内洋平
国内(一般演題)	2019年9月	第74回日本体力医学会大会口頭発表	女性アスリートのフィールドパフォーマンスにおけるモチベーションと集団心理的要因の交互作用の検討	つくば国際会議場	小菅萌、會田空、三井みのり、魚田尚吾、栗野聡、高本恵美、下河内洋平
国内(一般演題)	2019年9月	第74回日本体力医学会大会口頭発表	下肢アライメント不良はスクワット1RMのトレーニング効果に影響するの	つくば国際会議場	魚田尚吾、栗野聡、笹壁和佳奈、坂内悠、高津智光、小菅萌、三島隆章、下河内洋平
国内(一般演題)	2019年9月	第74回日本体力医学会大会口頭発表	大学女子ハンドボール選手の下肢アライメント不良が跳躍能力の向上率に及ぼす影響	つくば国際会議場	栗野聡、魚田尚吾、笹壁和佳奈、坂内悠、高津智光、楠本繁生、三島隆章、下河内洋平
国内(一般演題)	2019年7月	第8回日本アスレティックトレーニング学会学術集会	スポーツ傷害の危険因子となり得る下肢アライメントは体力指標の低下に関連する	日本体育大学	下河内洋平ほか
国際(一般演題)	2019年5月	World Federation of Athletic Training & Therapy Congress X	Effect of increased abductor hallucis muscle activity on subtalar pronation and knee valgus motion during a single-leg landing	幕割メッセ	Komura Y, Kuwano S, Shimokochi Y.
国際(一般演題)	2019年5月	World Federation of Athletic Training & Therapy Congress X	Inhibition Characteristics in a Former Female Handball Player With Three ACL Reconstruction Surgeries	幕割メッセ	Henderson F, Kuwano S, Sasakabe W, Shimokochi Y.
国際(一般演題)	2019年5月	World Federation of Athletic Training & Therapy Congress X	Effects of Changes in Hip Extension Energy Absorption on Knee Valgus Motion and the Effect of Lower Extremity Alignments and Hip Motion during Double-leg Landing	幕割メッセ	Uota S, Morikita I, Kuwano S, Shimokochi Y.
国内(一般演題)	2019年9月	日本体育学会 第70回大会	大学女子ハンドボール選手における試合中の活動プロファイルに関する研究	慶應義塾大学	井上裕真、下河内洋平、楠本繁生、小林博隆、下川直良、石原美
国際(一般演題)	2018年6月	American College of Sports Medicine 65th Annual Meeting	Effects of Increased Gluteus Muscle Activation on Hip and Trunk Kinematics during Single-leg Landing	Hyatt Regency Minneapolis	Yonei Shimokochi, Kanae Hosaki, Akiko Takiguchi, Issei Ogasawara
国際(一般演題)	2018年6月	American College of Sports Medicine 65th Annual Meeting	Trunk Muscle Fatigue and Activation are Associated with Drop Jump Performance	Hyatt Regency Minneapolis	Tasuyuki Uemura, Makoto Iguchi, Norihiro Shima, Yohei Shimokochi
国際(一般演題)	2018年6月	American College of Sports Medicine 65th Annual Meeting	Heel Strike Provokes 'Position of No Return' during Side-Cutting Maneuver	Hyatt Regency Minneapolis	Issei Ogasawara, Yohei Shimokochi, Ken Nakata
国内(一般演題)	2018年12月	第7回日本トレーニング指導学会	Kinectによる姿勢評価と歩行能力との関係性	大阪学院大学	油谷浩之、小川雅志、木村尚、春山尚貴、下河内洋平
国内(一般演題)	2018年12月	第7回日本トレーニング指導学会	大学女子球技選手における慢性足関節不安定性と方向転換能力との関係	大阪学院大学	成相美紀、楠本繁生、村上なおみ、下河内洋平
国内(一般演題)	2018年12月	第7回日本トレーニング指導学会	女子ハンドボール選手におけるトレーニング効果は シュート踏み切り脚と非踏み切り脚で異なるか?	大阪学院大学	笹壁和佳奈、三島隆章、楠本繁生、下河内洋平
国内(一般演題)	2018年12月	第7回日本トレーニング指導学会	方向転換動作を含む敏捷性に影響を及ぼす要因を505テストから探る	大阪学院大学	池田亮也、高山真、井上春奈、村上和之、比嘉靖、下河内洋平

国内(一般演題)	2018年12月	第7回日本トレーニング指導学会	パーククリーンおよびバックスクワットの最大挙上重量と20mスプリント走の関係性	大阪学院大学	桑野聡、三島隆章、楠本繁生、下河内洋平
国内(一般演題)	2018年12月	第7回日本トレーニング指導学会	着地動作中の股関節伸展仕事量の増減が前額面上の股関節と膝関節動作に及ぼす影響	大阪学院大学	魚田尚吾、森北育弘、桑野聡、下河内洋平
国内(一般演題)	2018年3月	日本ハンドボール学会 第6回大会	ペナルティスローとジャンプシュートにおける球速と体力要素の関係性	東京理科大学葛飾キャンパス講義棟	下村美月、楠本繁生、下川真良、下河内洋平
国内(一般演題)	2017年12月	第6回日本トレーニング指導学会	選手の基礎体力要素と指導者の主観的な総合評価の関係性の検討	帝京平成大学中野キャンパス	下村美月、吉本遼、下河内洋平
国内(一般演題)	2017年12月	第6回日本トレーニング指導学会	垂直跳びにおける下肢関節仕事量の相違が跳躍高および跳躍時の力の増強効果に及ぼす影響	帝京平成大学中野キャンパス	池田克也、桑野聡、下河内洋平
国内(一般演題)	2017年12月	第6回日本トレーニング指導学会	ゴルフスウィングにおける圧力中心移動と荷重配分の即時フィードバックの効果について	帝京平成大学中野キャンパス	油谷浩之、小川雅志、下河内洋平
国内(一般演題)	2017年9月	第72回体力医学会大会	投球動作における体幹の非投球側への傾きが肩関節の運動学的変数および筋活動に及ぼす影響	松山大学、愛媛	桑野聡、高山慎、下河内洋平
国内(一般演題)	2017年9月	第72回体力医学会大会	体幹筋群に対する疲労タスクの事例的検証	松山大学、愛媛	内田靖之、桑野聡、下河内洋平
国内(一般演題)	2017年9月	第72回体力医学会大会	地域在住の女性高齢者における家庭内の繋がりやサルコペニアおよび運動機能の関係性	松山大学、愛媛	鎌田洋輔、下河内洋平
国内(一般演題)	2017年9月	第72回体力医学会大会	片脚着地中の大殿筋の早すぎる収縮は複数の運動面における股関節及び膝関節角度に影響を与える	松山大学、愛媛	下河内洋平、寶崎加那絵、瀧口晃子

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額 (期間内の総額)
外部資金	委託事業	女性アスリートのパフォーマンス向上とスポーツ傷害予防の両立を目指したトレーニングプログラムの開発と普及・啓発～女性アスリートのトレーニングナビゲーターと下肢傷害発生の危険因子の関連性を探る～	代表	2018年4月～2020年3月	20,000千円
外部資金	受託研究	不安定なサーフボード上でのエクササイズが体幹筋群の筋活動量に及ぼす影響 (株式会社ノースラ)	代表	2017年5月～2022年3月	500千円
外部資金	受託研究	コンプレッションアンダーウェアが局所的筋疲労の回復度合いに及ぼす効果 (株式会社デサント)	代表	2014/4/1～2020/3/31	1,000千円
科学研究費	基盤研究(C)	足関節底屈位による片脚立ちバランストレーニングが足関節神経筋調節機能に及ぼす影響	分担	2017/4/1～2020/3/31	4,550千円
科学研究費	若手研究(B)	経皮的電気刺激を用いた新たな手法によるACL損傷メカニズムの再現と内的因子の影響	代表	2014/4/1～2018/3/31	2,990千円
科学研究費	若手研究(B)	体幹部機能が前十字靭帯損傷予防に及ぼす影響	代表	2011/4/1～2014/3/31	2,730千円
外部資金	委託事業	健康・スポーツPLR (Personal Life Records) プラットフォーム創設プロジェクト: スマートフォンを用いたPER (Personal Exercise Records) アプリケーションの開発～スポーツ傷害予防や健康寿命延伸をめざして～	代表	2018年4月～2020年3月	14,000千円
外部資金	委託事業	伸張性トレーニングがアスリートのスポーツ傷害予防や高齢者の体力維持・転倒予防に及ぼす影響	代表	2020年4月～2022年3月	4,000千円

特許

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国
肢制御能力測定装置、下肢制御能力測定システム、下肢制御能力測定プログラム、下肢制御能力測定プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体、及び下肢制御能力測定方法	下河内洋平、峯田晋史郎	2021年11月5日/特願2021-180865		取得した場合 →		
下肢制御能力測定装置、下肢制御能力測定システム、下肢制御能力測定プログラム、及び下肢制御能力測定方法	下河内洋平、峯田晋史郎	2021年9月14日/特願2021-149123 (特願2021-130819の優先権主張)				
下肢制御能力測定装置、下肢制御能力測定システム、下肢制御能力測定プログラム、及び下肢制御能力測定方法	下河内洋平、峯田晋史郎	2021年8月10日/特願2021-130819				

Ⅲ 加入学会および社会における活動						
期 間		内 容				
加入学会						
2005年～現在		National Athletic Trainers' Association 会員				
2007年～現在		日本体力医学会 会員				
2011年～現在		日本コーチング学会 会員				
2012年～現在		日本トレーニング指導者協会 会員				
2013年～現在		日本臨床スポーツ医学会				
社会的活動						
2010年		World Federation of Athletic Training and Therapy (Research and Education Committee Member)				
2013年～現在		日本トレーニング指導者協会 国際・研究委員				
2013年～現在		日本トレーニング指導学会 世話人				
Ⅳ 管理活動						
期 間		内 容				
委員会活動						
2021年～2022年		FD委員会委員長、研究科委員会副研究科長				
特別プロジェクト活動						
2018年～現在に至る		特色あるプロジェクト研究 代表				
Ⅴ クラブ活動の指導業績						
1. 指導クラブ名	女子ハンドボール部	部	2. 役職	トレーニングアドバイザー	3. 部員数	53 人
4. 現場指導の頻度	② ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない					
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日		
6. クラブの競技力向上への取り組み	② ① 積極的に取り組んでいる ② ある程度取り組んでいる ③ あまり取り組んでいない ④ 全く取り組んでいない					
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	② ① 積極的に取り組んでいる ② ある程度取り組んでいる ③ あまり取り組んでいない ④ 全く取り組んでいない					
8. 部員の就職指導への取り組み	② ① 積極的に取り組んでいる ② ある程度取り組んでいる ③ あまり取り組んでいない ④ 全く取り組んでいない					
9. 年間の引率公式大会名	大会名		期 間	場 所		
			11月			
			12月			
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)						
開催期間	大会名		成績	場 所		
2013年～2019年、2021年	全日本学生ハンドボール選手権大会		優勝			
Ⅵ 賞罰 (職務に関する賞罰)						
年 月	受賞等機関名	内 容			備 考	
2021年	日本アスレティックトレーニング学会	笹壁和佳奈、小笠原一生、楠本繁生、魚田尚吾、栗野聡、下河内洋平、ドロップジャンプにおける動的アライメントと実際の競技中の減速動作における危険肢位およびハイリスク動作出現率との関係性、優秀発表賞				